

有限会社アイコーソーイング

■事業

最新アパレル用CAD／CAM導入による
多品種・小ロット短納期対応の強化と新事業立上げ

■対象類型

ものづくり技術

■導入機械装置

NCA XL-S1型マイコン自動延反機、高速自動裁断機／2009年式 TAC-175VN

多品種小ロット、短納期の ニーズに応じて売上アップ

【経営理念】

ユーザーに喜びを与え納得していただけるものづくり

学校がアイデンティティー(存在感)を主張するアイテムの一つ学生服。アイコーソーイングは、学生服のストラックス生産で安定的な事業展開をしてきたが、多品種少ロット化が進む中、少子化による需要減も見据え、生き残りを懸けて補助事業によって自動延反機、高速自動裁断機を導入。生産性向上、短納期を実現させて業績を伸ばしている。

紳士服のスリーピース需要が増加していた昭和63年、山陽地方に本社を置くアパレルメーカーの要請で、ベストを縫製する協力会社として創業した。浮き沈みの激しいアパレル業界だけに、ベストの需要が減ったため紳士服のストラックスを手掛けていたところ、老舗学生服メーカー明石被服興業の宇部工場から、学生服のストラックス製造を打診され、協力事業所として縫製を始めた。学生服は、平成時代を迎えると、詰め襟一辺倒からブレザーやスーツなど各校の個性が尊重されるようになり、少量多品種による生存競争が始まった。年を追うごとに生産性の向上、短納期の強化、高付加価値化が求められるようになり、平成29年度に生き残りを懸けてアパレル用CAD／CAM(補助対象外)、自動延反機、高速自動断裁機という最新機器の導入に踏み切った。

自動裁断機の導入によって 大幅なリードタイムカット

特に、1月から4月上旬までは、入学式に間に合わせたいというユーザーニーズが高く、超繁忙期を迎える。取引先から小ロットの増産が舞い込む中、従来の手作業による裁断では対応に限界があったが、CAD／CAMの導入により、自動マーキングで型入れの時間が短縮でき、カットイング時間も大幅に短くなった。特に裁断は、熟練した職人による手作業から自動化したことで、正確に、しかも布地を数枚重ねて裁断するため、30%以上ものリードタイムカットにつながった。さらに、裁断数量のアップにつながったことで、縫製作業員を増やして対応し、生産量が2割以上増加した。

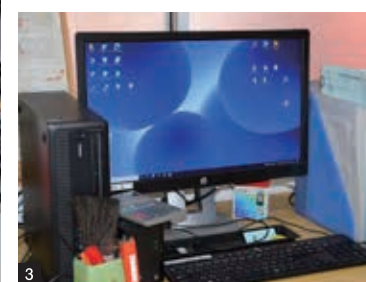
新しい機械の導入に併せ、従来の工場が手狭だったことから、約3倍の広さを持つ遊技施設跡に移転し、2階は10名の外国人技能実習生の寮として活用している。



縫製された柄、色などが異なる学生ストラックス



1 反物を延ばして何枚も重ねる自動延反機
2 大幅な時間短縮につながっている自動裁断機
3 パソコンでデータを入れるCADシステム



繁忙期以外の導入機器活用で 新規事業を見据える

学生ストラックスは、色、柄、材質、夏・冬用、ローウエスト、3センチ刻みのウエストサイズなど多品種小ロット化がさらに進む。近年は、女子生徒用ストラックスのオーダーも増えている。さらにニーズの多様化が進むと予想されるが、この補助事業によって年商が2割以上アップしており、2020年に2代目を継いだ金山孝太郎社長、姉の田部愛佳専務とも「繁忙期以外の裁断機の活用を考えたい。縫製までの工程だと人手不足で対応できなくても、裁断までだと対応が可能。また、作業ズボンなど新規事業を立ち上げることで、さらに年商アップに挑みたい」と意欲を見せる。

■Company Data

有限会社アイコーソーイング



社屋外観

代表者名：金山孝太郎
設立年：1988(昭和63)年9月3日
資本金：17,000千円
従業員数：16名
主たる業種：繊維工業
本社：〒690-2701
雲南市掛合町掛合 1805-1
電話：0854-62-1418
FAX：0854-62-1419